スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

【北海道余市町】
令和５年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

自治体名	北海道余市町
担当課名	余市町教育委員会社会教育課
電話番号	0135-23-5001

1．自治体の基本情報

スポーツ庁

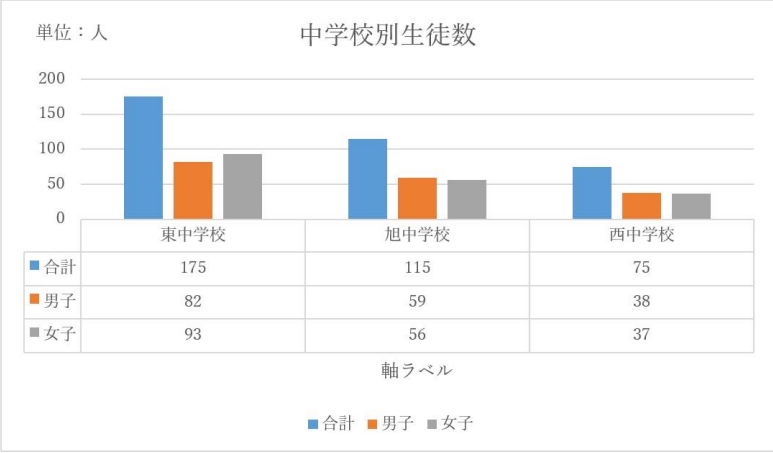
基本情報

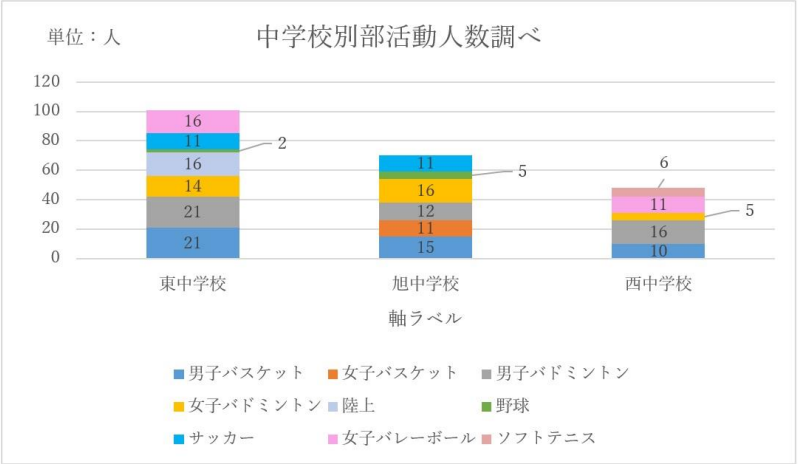
人口	17,216人	部活動数	１８部活
公立中学校数	3校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置していない
公立中学校生徒数	365人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

余市町においては、他の自治体同様、人口減少・少子化により部活動の減少が進み、生徒が希望するスポーツ活動を行うことができない状況が進展していること、競技経験にない種目を指導することが負担となっている教員と、熱心に指導している教員がいることから、部外人材を活用した負担軽減と、指導を希望する教員が引き続き指導を行うことができる仕組みづくりを検証するため、休日の運動部活動の地域移行等に向けた実証事業に取り組んで来ました。
地域のスポーツ振興という点においても、重要な役割を担ってきたことから、地域スポーツ全体の課題として認識し実証事業の成果などを踏まえた早急な対応が求められている。

余市町基本情報
●人口　17,216人（令和5年12月31日現在）
●公立中学校数　３校
●公立中学校生徒数　３６５名
●部活動数　１８部活動

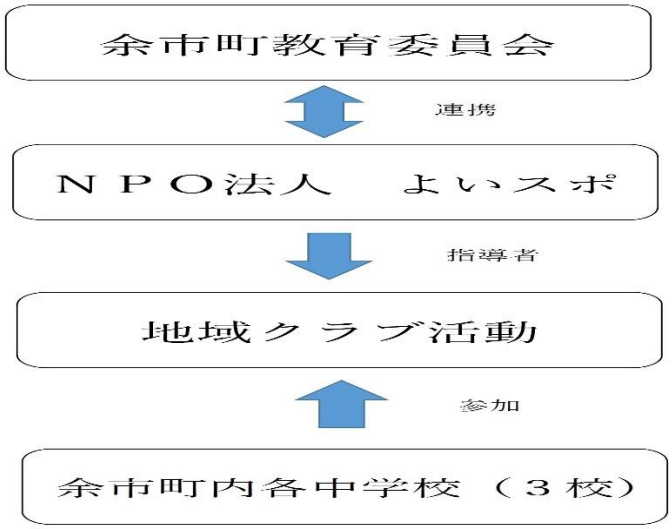




2．実証内容と成果

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

- **教育委員会**（社会教育課）
  地域部活動移行推進に係る助言
  各中学校とNPO法人よいスポとの協議調整

年間の事業スケジュール

期日	計画事項
7月	第1回連絡会の実施（関係者間の顔合わせ、方針の確認） 拠点校における実施準備 地域指導者向け研修会の実施、教師の兼職兼業にかかわる説明の実施 地域スポーツクラブ活動の活動開始（野球、バスケットボール、サッカー）
8月	保護者アンケート調査の実施
10月	関係団体ヒアリング（部活動改革、地域スポーツの今後について） 第2回連絡会の実施（進捗状況の報告等、検討事項の洗い出し）
11月	部活動改革に係るミニフォーラム
1月	第3回連絡会の実施（成果報告、来年度に向けた検討課題）
2月	事業完了報告書、成果報告書の作成

2．実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

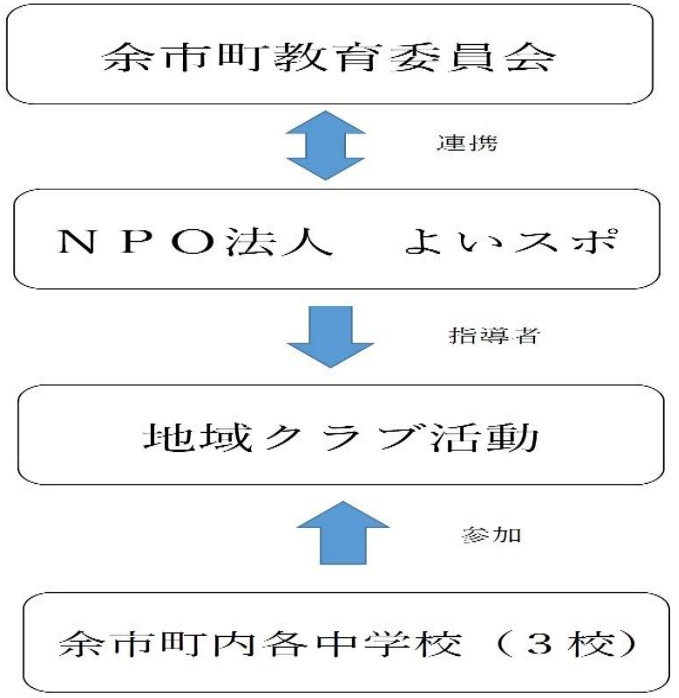
拠点校数	２校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	野球、サッカー,女子バスケットボール
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	３部活	※計画段階では町内中学校３校で実証事業を実施する予定であったが、余市町立東中学校については協議を重ねたが、体制が整わなかったため、次年度から事業実施するよう調整し、今年度については２校での実証事業を実施した。	

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	余市町立旭中学校 余市町立西中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	３部活
地域クラブ活動で実施した種目	サッカー、野球、バスケットボール
運営主体名	NPO法人よいスポ
運営類型	地域スポーツ団体等運営型 （総合型地域スポーツクラブ運営型）
１か月あたりの平均的な活動回数	サッカー：月4回程度 野球：月16回程度 バスケットボール：月8回程度
指導者の主な属性	NPO法人よいスポ
活動場所	町内社会体育施設・町内中学校等
主な移動手段	スポーツクラブ送迎・自己移動
１人あたりの参加会費等（年額）	16,000円
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：８００円/年 指導者１人あたり：１２００円/年

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



※　今年度は２校で実施

2．実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

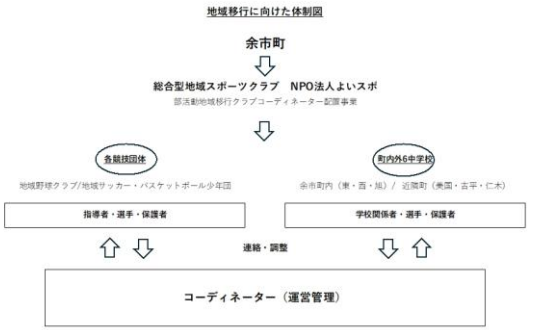
▼取組項目名：ア．関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

・地域部活動コーディネーターを配置し、余市町、中学校、競技団体、保護者との連絡調整・指導助言を行う。
・余市町、町内３中学校（東、西、旭）、種目別指導員との連絡調整、ネットワークの構築と連携強化
※計画段階では町内中学校３校で実証事業を実施する予定であったが、余市町立東中学校については協議を重ねたが、体制が整わなかったため、次年度から事業実施するよう調整し、今年度については２校での実証事業を実施した。

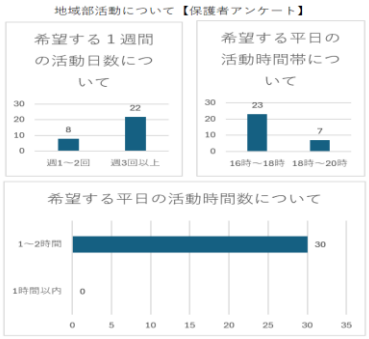
取組の成果

部活動の地域移行に係るコーデネーター2名を（正・副）配置し、町内各中学校との協力のもと練習活動日の日程調整及び練習会場の確保、地域部活動指導員の配置調整を円滑に行うことができた。学校施設を活動拠点の中心として、各学校長及び部活動顧問との情報共有・連絡調整を行い、地域部活動指導員の配置や指導について協議を進めながら運営管理を実施。地域と学校が協力をしながら試験的に取り組むことができた。クラブの指導者と兼職兼業の承認を受けた部活動顧問（学校職員）が地域部活動指導員として指導を行い、曜日を問わず統一した指導を行うことができた。



特に工夫した事項

部活動地域移行への初年度ということで、各学校長、部活動顧問、各競技団体、保護者、指導員の事前の聞き取り調査と情報共有を行い、地域の子供たちの「やりたい、継続したい」を第一に持続可能な環境づくりをテーマに協議を重ねながら地域移行へ向け取り組んだ。指導については、これまで指導を行っている部活動顧問と地域の種目別指導員とが活動方針や指導方法等の情報共有を行い、より効率的かつ効果的な指導に努めた。各学校ごとに学校行事やテスト期間が違うため、在籍する学校ごとに活動量のばらつきが極力ないよう調整を行い、またテスト前期間などは活動を自粛した。



今後の課題と対応方針

平日の練習時間帯は、各校区の生徒が集まれる時間帯（１７時以降の夜間）に活動するため、学校開放事業（18時～21時）を活用検討しているが、同事業については町内の一般団体等が既に定期的に活用しており、これらの団体や学校との調整を行い、活動場所の確保をしなければならない。また、学業に支障が出ないように夜間練習時間の調整が課題であり、学校の意見を頂きながら、生徒・保護者に対しアンケートを行い、それを踏まえ計画を立てる。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

取組事項

・地域の各種競技団体、クラブ指導者ネットワークによる地域部活動指導員の発掘と確保
・効果的な練習方法、一貫指導について、地域部活動指導員間の情報共有と連携強化
・競技別の指導員に必要な資格の取得と学び

取組の成果

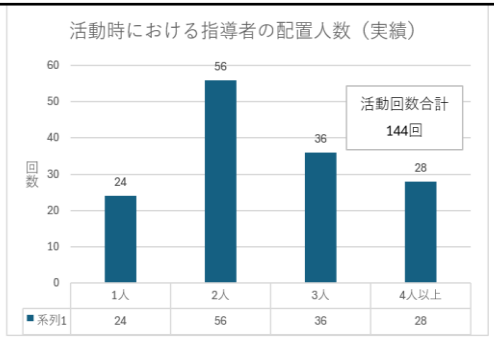
これまで指導を行っている部活動顧問、地域の各種競技の指導員を地域部活動指導員として複数配置する事が出来、生徒たちの安全に係る見守り、効果的な練習を行う事が出来た。また、指導員の発掘をクラブ内ネットワークで呼びかけを行った。人材の確保と学校長・部活動顧問・コーディネーター・地域クラブ指導者との４者による運営・指導に係る協議を定期的に行い、課題の共有や改善に向け取り組む事が出来た。クラブと地域部活動指導員が雇用契約を結び雇用契約を結び、関係者間の練習内容や生徒の状況を共有、把握することで一貫した効果的な指導を行う事が出来た。
また、軟式野球クラブの中体連参加に必要な軟式野球審判ライセンスを受講（1名）した。



指導者配置に係るSNS活用

特に工夫した事項

月ごとの練習候補予定日を作成し、事前にSNSを活用し各地域部活動指導員へ活動可能日を打診し、コーディネーターが全体を把握し早めに予定を整理することで、練習日、時間の調整・練習量の確保を円滑に行う事が出来た。複数の地域部活動指導員がいることで、安全かつ効果的な練習を行うことができた。
また、地域部活動に係る研修会等の案内を周知、指導に係る資料等を配付し、研鑽に努めた。



今後の課題と対応方針

クラブが地域部活動指導員を雇用する際の資格の有無等の条件について整備が急務であり、指導者としての学びについての研修やライセンスについて協議を進めていく。

2．実証内容と成果

取組内容

▼取組項目名：エ：面的・広域的な取り組み

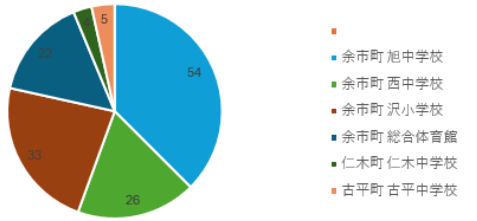
取組事項

・近隣町村を含めた地域部活動の運営
・近隣町村の体育館の活用と活動場所の確保
・移動に伴う生徒の移動手段（送迎車両）の確保と管理

取組の成果

冬季間、町内の社会体育施設が一般団体や個人使用で使用できない場合は、隣町の古平中学校体育館の空き時間（週末）をクラブで借用し、練習量の確保を行うことができた。夏季は町内の余市西中学校の他、隣町の仁木中学校の施設を借用し活動場所の確保を行った。
特に町外の施設を借用した活動の際は、クラブ車両のよる生徒の送迎を行うことにより、保護者の都合による不参加を減少し、保護者の負担の軽減を行うことができた。

活動場所の割合　144回



特に工夫した事項

選手の在籍する町内3中学校および近隣の仁木中学校・古平中学校の協力のもと、学校関係者へ借用可能な日時を事前に確認し、練習日を調整することで生徒の送迎や指導者の配置を円滑に行うことが出来た。平日の活動日の送迎については、西中学校区内での活動時は東・旭中校区の生徒の送迎（各集合場所～活動場所）を行い、旭中学校区内での活動時は、西中学校区内の生徒の送迎（同）を実施し、積雪量が多い期間（1月）は主要拠点（各学校～活動場所）からの送迎を実施した。

11月　（平日）送迎予定表　　セレナ車両

水曜（沢小行）	オオタカ女子寮前18：10－旭中発18：20－千成前18：30－沢小学校体育館
木曜（西中行）	オオタカ女子寮前18：10－松岡邸18：20－打矢邸18：25－沢町信金前18：35－西中学校

今後の課題と対応方針

2年目となる令和6年度以降、生徒が増加した場合でも効果的な練習を担保する為に、複数の活動場所の確保や民間施設の利用等の検討が必要。複数台の送迎車両の配備と運行マップの整備、校区ごとの生徒の割合と町内外の生徒の比率によって活動場所と指導者配置の調整が必要な為、随時協議していく。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：キ：学校施設の活用等

取組事項	・平日の町内の小、中学校開放事業（18時～21時）の活用
取組の成果	余市沢町小学校体育館を日常的に使用する競技団体（余市沢町地区野球スポーツ少年団・バスケットボール少年団等）と調整し、事前に借用可能な日時を確認し活動日を設定することで、計画的に体育館の借用・空き時間の利活用をすることが出来た。 また平日は、少年団の活動が終わった後の18時30分以降などに、学校開放事業として地域部活動の活動時間を設けることで、従来の部活動とは違い、距離のある各校区からの選手も参加しやすい練習環境を作ることが出来た。
特に工夫した事項	小学校体育館のカギの本数が限られており、活動日当日の「カギの預り」と翌日の「カギの返却」については、地域部活動指導員が対応できない場合は、当該地域の保護者に協力を依頼し確実かつ効率的に行った。 また、学校開放事業の利用予約調整・申請・報告の運営管理についてはコーディネーター管理の元、適切に行うことが出来た。
今後の課題と対応方針	活動場所が１ヶ所ではなく、活動の度に選手の移動と練習用具の搬出・搬入が伴うため、用具の管理が課題である。用具を地域部活動指導員が都合上自宅に預かる場合もある為、令和6年度以降の管理について検討協議が必要。練習時間や頻度についても生徒・保護者・地域部活動指導員のアンケート調査を随時行い、活動計画に反映する。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

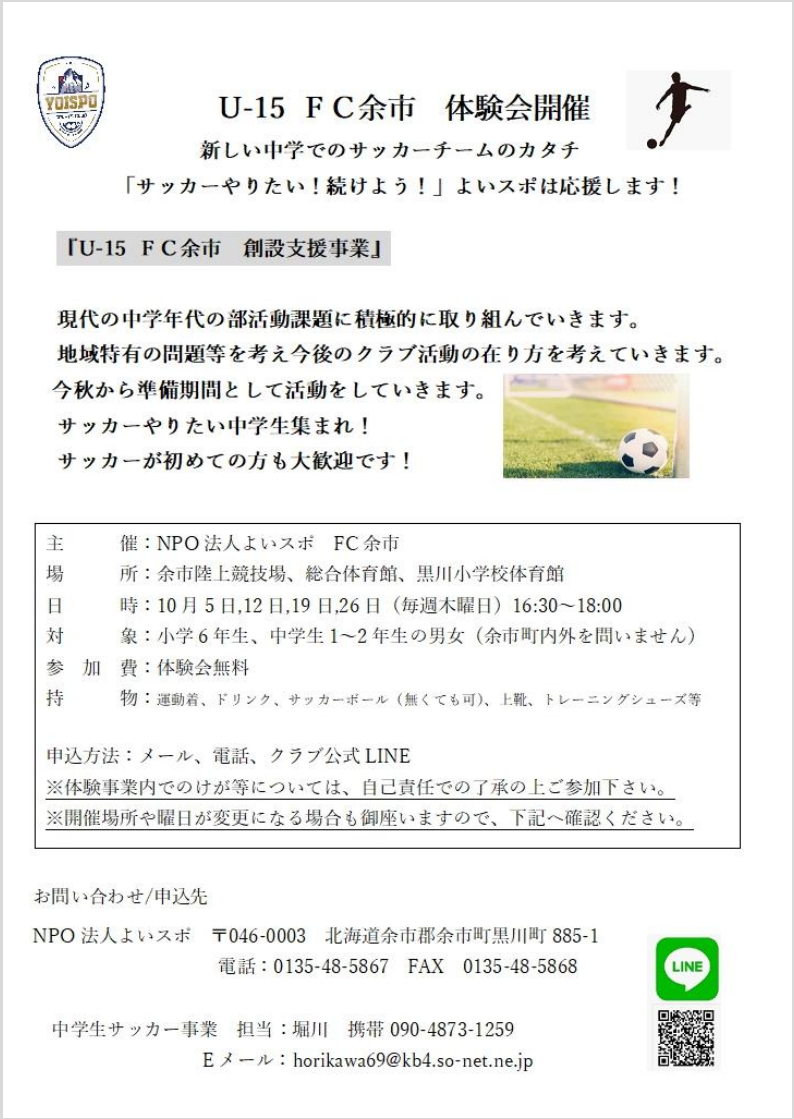
▼取組項目名：ク：その他の取組

取組事項	・送迎用車両の配備、活動場所への生徒の送迎
取組の成果	・送迎用車両を配備し、試験的な運行によって校区外の地域部活動に各校区の生徒が参加することが出来た。活動場所及び参加する生徒の状況に応じて、コーディネーターによる送迎路線と時間の調整を行い、効率的な試験運行に取り組んだ。これにより保護者の負担を軽減し、校区外の活動時においても生徒が戸惑いなく地域部活動に参加することが出来た。
特に工夫した事項	・コーディネーターと直接連絡ができる手段を持たない生徒もいるため、予定の変更等については生徒の保護者及び学校関係者を経由し迅速に業務連絡を行った。
今後の課題と対応方針	2年目となる令和6年度以降、選手の増加に伴う車両の整備と運転人員の整備について町・学校・保護者・指導者を含めて協議検討を進めていく。

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）



U-15 ＦＣ余市　体験会開催

新しい中学でのサッカーチームのカタチ

「サッカーやりたい！続けよう！」よいスポは応援します！

『U-15 ＦＣ余市　創設支援事業』

現代の中学年代の部活動課題に積極的に取り組んでいきます。
地域特有の問題等を考え今後のクラブ活動の在り方を考えていきます。
今秋から準備期間として活動をしていきます。
サッカーやりたい中学生集まれ！
サッカーが初めての方も大歓迎です！

主　　催：NPO 法人よいスポ　FC 余市
場　　所：余市陸上競技場、総合体育館、黒川小学校体育館
日　　時：10 月 5 日,12 日,19 日,26 日（毎週木曜日）16:30～18:00
対　　象：小学 6 年生、中学生 1～2 年生の男女（余市町内外を問いません）
参 加 費：体験会無料
持　　物：運動着、ドリンク、サッカーボール（無くても可）、上靴、トレーニングシューズ等

申込方法：メール、電話、クラブ公式 LINE
※体験事業内でのけが等については、自己責任での了承の上ご参加下さい。
※開催場所や曜日が変更になる場合も御座いますので、下記へ確認ください。

お問い合わせ/申込先

NPO 法人よいスポ　〒046-0003　北海道余市郡余市町黒川町 885-1
電話：0135-48-5867　FAX　0135-48-5868

中学生サッカー事業　担当：堀川　携帯 090-4873-1259
Ｅメール：horikawa69@kb4.so-net.ne.jp

【サッカー広報チラシ】



【女子バスケット】広報チラシデータ

U-15創設事業
（女子バスケットボール）

チーム登録準備中

中学女子バスケ

始めてみよう‼　続けよう‼

4月17日（月）～START‼

見学・体験、随時募集！

日　時：　毎週月・水（午後6時-8時）
場　所：　余市旭中学校体育館

余市B-DASHバスケットボール少年団 U15

学区不問、町内外を問わずに参加OK！
当番・お手伝いの強制なし！
学校行事は練習より優先！
他の部活や進学塾との併用も可！

※U-15チーム登録へ向けて進めています。
今後は（平日週3回/土日1回）を予定しています。
興味のある方は下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

NPO法人よいスポ

〒046-0003 北海道余市郡余市町黒川町885－1
電話：0135-48-5867　FAX：　0135-48-5868
HP：yoispo.net Eメール　：yoichi.sports@gmail.c
U-15創設事業　担当：佐々木090-6871-7755

【バスケットボール広報チラシ】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）



野球を始めよう‼続けよう‼
新しい中学野球のカタチ

中学軟式野球クラブ創設事業
練習体験会‼

保護者当番制ゼロ！
雑務を含めて全てクラブ側が行います。町外への対外試合など保護者の送迎なども必要ありません。

学校クラブかけもちOK！
中学校学校行事は練習より優先。
中学校でのクラブ活動や進学塾の併用も可能です。

日　時：①令和4年4月16日②4月23日③4月30日
①②③ともに午前9：00−12：00
場　所：古平B&Gグラウンド（雨天中止）

主　　催：NPO法人よいスポ
対　　象：中学１－３年生
参 加 費：体験会参加無料
持　　物：運動着、運動靴、バット、グローブ、スパイク、ドリンク
（バット、グローブ、スパイク等、用具は無くても可）
申込方法：メール、クラブ公式LINE、FAXにてお申込みください
※最小催行人数あり（事業は中止になる場合があります）
練習会場への送迎あり　余市町―古平町
（余市駅前8:15，総合体育館8:20，沢町信金前8:30）
※チーム創設へ向けて準備しています（冬季週2回/夏季週3回）を予定しています。詳細は下記までお問い合わせください。

体験事業内でのけが等については、自己責任での了承の上、ご参加下さい

お問い合わせ/申込先
NPO法人よいスポ　〒046-0003 北海道余市郡余市町黒川町385－1
電話：0135-48-5887　FAX：0135-48-5888
HP：yoispo.net Eメール：yoichi.sports@gmail.com
中学生野球事業　担当：佐々木090-6871-7755

Instagram　LINE

【軟式野球広報チラシ】



よいスポ Times　No,12

ご無沙汰しておりました。半年以上も更新できず申し訳ありませんでした。。
久々のよいスポ times の記事は、今年度からスタート・発足した中学軟式野球クラブ『Bluetus』について！
それと８月１日（月）に開催した『夏休みハイテク AC アカデミー交流事業』についてお届け致します

『Bluetus』活動紹介

今春からスタートしたＵ１５軟式野球クラブ
「ブルータス」
中学生の部活動ではなく、地域の「クラブチーム」として発足しました。
野球少年団の縮小・中学校部活動の廃部が進む中、余市町近隣にはまだまだ野球をやりたい子供たちがたくさんいます。野球を続けたい子供達の受け皿！
専門指導のもと、週３回の練習（西中グランド・自由広場グランド・各小学校体育館）、他競技の部活動と二刀流でもOK！！保護者の当番制は一切なし！
学道とスポーツの両立を目指して活動中！！
一緒に野球しようぜ！！

PEACE ベースボールクラブ（札幌市）と合同練習紅白戦　in 余市町営球場

９月25日（日）町内大会（余市町天狗杯）
LOUTUS マスターズと混合チームで参戦！
石栗君（中３）の力投も惜しくも準優勝。頑張った！

新メンバー募集中です！
小学６年生から練習参加できるよ！まずは、練習を見にきてください！

・新年度の中体連へ向けて活動中です。
引き続き応援よろしくお願いします

【ハイテク AC アカデミー交流事業】

８月１日(月)
恵庭市にある総合型地域スポーツクラブ『北海道ハイテク AC アカデミー』へ交流事業で行ってきた。
総合型クラブ間交流は初めてで緊張の中、14 名子供たちを連れて行った。
まずは室内110mトラックにてウォーミングアップ・リレー等を行った。
その後、アリーナへ移動し『スポーツ鬼ごっこ』で楽しく激しく交流してきました。また来年!!

事業スタッフを募集してます!!技術指導やスポーツ振興をお手伝いしてくれる方、探しています！

発行：NPO法人よいスポ　2022/9/30

【よいスポ活動広報誌】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）



【よいスポパンフレット（裏）】



【よいスポパンフレット（表）】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【軟式野球クラブ】



【女子バスケットボール】



【サッカー】



【顧問・指導者会議】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【軟式野球】



【女子バスケットボール】



【顧問・指導者会議②】



【軟式野球③】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和３年：検討開始

令和４年：学校現場との調整
受け皿団体や指導者の選定、拠点校の選定

令和５年：学校現場との調整
生徒、保護書への説明

令和６年：地域クラブ活動の実証開始

令和６年：地域クラブ活動の拡大

●町内中学校への現状調査

令和３年、校長会より部活動地域移行の今後に向けて協議を開始。
地域運動部活動推進事業に向け、町内中学校の部活動の実態を把握

町内中学校に対し（学校部活動）現状の部活動種目・部活動数・人数等のアンケート調査を実施。
また、地域移行へ向けた教員への指導希望調査や指導体制についての聞き取り調査を実施し部活動の地域移行に向けた準備を開始する。

●連絡会設置
地域部活動指導員による指導の取組状況の共有及び今後の地域部活動への移行に向けた検討などを行うために、関係者との連絡会を開催。

●実施にあたって生じた課題
・部活動と地域部活動との指導体制
スポーツの種類によっても人材確保に関わる状況は大きく変わってきます。地域内で指導に携われる人材を探そうとしても、特定のスポーツでは適切な人材が見つからないこともある。
・地域部活動に参加した場合の経費
地域移行が進むと、部活動が地域のスポーツクラブや民間企業などに移行されるため、移行先への会費等負担が大きい。
・関係者との連絡調整等

●実施内容、工夫した点等
・合同部活動や地域部活動指導員の配置により地域と連携することや、学校外の多様な地域団体が主体となる地域クラブ活動へ移行することについて、地域の実情等に応じて可能な限り早期の実現を目指す。

●運動部活地域移行に向けた実証事業開始

●ＮPO法人よいスポへ委託
・野球、バスケットボール、サッカー、バドミントン種目を地域移行に向け実証。

●実施にあたって生じた課題
学校外への移行という、これまでとは異なる形で行われる活動に対して、交通手段の確保が課題。

●実施内容、工夫した点　等
放課後の時間帯に各学校から集まれない為、学校開放事業を活用し18時以降に活動した。試験的に送迎車両及び運転手を整備し、平日の学校間の送迎を実施した。

3．今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

余市町・余市町教育委員会　部活動改革スケジュール（案）

